

「はじめてのイタリア6日間(世界遺産の街～路上駐車の街)」②

No.38 鶴海拓也

3月29日(土) 2～3泊目:NILHOTERU(ニルホテル)

昨日は、ピサの観光終了後は、地元の「レストラン」で鮭をメインとした夕食後にフィレンツェのホテルにチェックイン。早めにシャワーを浴びるが、全開にしてもほどほどのお湯しか出ない。昨日と同じく浴室にぶら下がるヒモが気になった…。

天気は回復せずにイマイチである。今日は水の都「ベネチア」である。ホテルから約257km(バスで片道が3時間45分とある)。こればかりは仕方ない。車窓を楽しむ。現地に到着してから、バスを降りて「水上バス」乗り場へ。20分程で憧れの「ベネチア」へ。ここでも、観光前に「イカスミパスタ」と「イカのリングフライ」の昼食を頂く。

昼食後は、2時間の自由時間。今回の旅行で親しくなった、佐賀市内のご夫婦の「ベネチアグラス」を購入にお付き合いする。向こうは「日本語」で商品説明や価格などを説明しているが、イマイチ噛み合っていない。私が英語で間に立って、送料や保険を含めた価格を交渉する。うまく金額が折り合い、双方が満足の様子。良かった。宿泊先のホテルでの夕食(ローストビーフ)の晩酌代は、そのご夫婦がお礼に支払ってくれた。ありがとうございました!

ベネチアでは、ドゥカーレ宮殿、サンマルコ寺院やサンマルコ広場を散策。そして、ゴンドラに乗船して道ならぬ水路を体験。よくもこの長いゴンドラが、狭い水路を擦る事無く進むものだ。

この町は水面すれすれの高さで、150の運河が177の街に分けてあり400もの橋で繋がっている。年に50回ほどは50cm、高さの低い「サンマルコ広場」は水没すると言う。

どうして、この場所に住むのかと言うと敵から攻められない様にだと言う。日本の城のお堀と同じ感覚である。サンマルコ広場にある「マルチャーナ図書館」の上に数多く銅像が並んでいるが、妙な間隔が空いてある。そこにあった2体の銅像はナポレオンが持ち帰ったそうである。

3月30日(日) 4泊目:THE SEASER ROMA(シーザーホテル)

天気が回復している。空が青い。最初に高台に登って、フィレンツェの街並みを眺望する。何度もカメラ撮影するが飽きることが無い。

市街地にある世界遺産に登録されている「フィレンツェ歴史地区」を散策。「サンタ・クローチェ聖堂」、神曲の詩人「ダンテの家」、「サンタ・マリア・デルフィオーレ大聖堂」などを経て「ウフィツィ美術館」へ。そこでは「メディチ家」が収集した数多くの「ルネサンス絵画(※)」等が展示されている。(※)「ヴィーナスの誕生」や「受胎告知」など。

この「メディチ家」の祖先は、医師または薬剤師だったと言われ、現在の「medical(医療)」や「medicine(薬)」の語源になっていると言われている。紋章には「丸薬」のデザインがある。

昼食(チキン料理と野菜)後は、最終目的地のローマへ移動(279km、約4時間)。夕食は、カンツォーネを聴きながらのパスタ料理(フィットチーネ)。多くの人がわざわざ聴きに行かなくても思っていたが、凄い歌唱力と、ミネラルとワインの「飲み放題」で盛り上がった。

3月31日(月)

最終日は「ヴァチカン市国」へ入国後、「ヴァチカン博物館」「サン・ピエトロ寺院」を見学。ご存知の通り、ローマカトリック教徒の総本山であり、世界で一番小さな国。「ローマ教皇」が国を統治している。帰国後、残念ながら4月21日にフランシスコ教皇の訃報が報じられた。私達が見学をした荘厳な建物「サン・ピエトロ寺院」でのお別れの儀式がニュースで流れていた。

イタリアでの最後の昼食は「マルゲリータ」であった。創業が私の生まれた年と一緒にだったので、それを知らせると「何か貰えるかも」とツアー同行者が言っていたが、旅の恥をかく年齢でもないので静かにピザを味わった(笑)。

昼食後に、映画「ローマの休日」で有名な「テレビの泉」と「スペイン広場」で自由時間をもらうが、世界中からの観光客でごった返しておりスリに気を付けながら散策をした。至る所に警察官の姿を見る。3種類ほどの制服を着た方々と、軍の制服を着た方も警備している。ご本人達の写真撮影の許可を求めるが断られたが、黙って撮る分には何も言われなかった。腰元にある拳銃のゴツイ事に本当に驚いた

残念ながら「コロッセオ」は車窓からになってしまったが、こちらの自由時間を削っても行きたかった。「スペイン広場」での自由時間では、周りに「土産物店」などではなく、イタリアの有名な「ブランド店(プラダやアルマーニなど)」しか無かったからである。残念…。

4月1日(日)

ローマから上海、上海から福岡へ。上海では、一旦入国してからの「乗り継ぎ」となる。幸い、「ビジネスクラス」だったので人生初めての「ラウンジ」初体験する。親しくなった佐賀市のご夫妻と一緒に、無料の飲み物や食べ物を楽しみながら待ち時間を過ごした。

福岡への到着は夜の8時50分だった。ビジネスだと優先される預けた荷物も手違いで、「優先タグ」が貼られていなくて、カバンを拾うのに時間を有した。

(各地の風景)



ベネチア①



ベネチア②



サンマルコ広場



サンタ・クローチェ聖堂



フィレンツェの街並み



ヴァチカン博物館(外観)



ヴァチカン博物館(内観)



ヴァチカン博物館（内観）



サン・ピエトロ寺院（外観）



サン・ピエトロ寺院（内観）



サンタンジェロ城



テヴェレ川



トレビの泉